

令和5年度岩手県栄養士会生涯教育研修会プログラム

- ★目的 近年、高度・専門化する保健・医療・介護等に的確に対応できる人材が求められ、管理栄養士・栄養士にあっては、栄養・食生活の専門職としての能力向上は必須です。今年度も専門知識と実力向上により有効なプログラムを準備しました。会員各位の参加をお待ちします。
- ★会場 いわて県民情報交流センター アイーナ(盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1)
- ★時間 午前10:30~12:00、午後①13:00~14:30、午後②14:45~16:15

期日 会場	時間 型式	テーマ・講師・座長	日栄カリキ ユラムNo.
7/2 (日)	午前 レポート	「気になる子どもの食事動作指導」 講師/ 神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 保健福祉学研究科 学科長 教授 笹田 哲先生 座長/ 岩手県栄養士会研修部長・盛岡大学 栄養科学部 講師 森 真貴子	小児の発 育・発達 23-114
	<p>〔講義紹介〕 発達障害作業療法学がご専門である笹田哲先生から、発達が気になる子供の食事動作について作業療法の観点から、楽しく、無理なく、食事の姿勢や食具の使い方を指導できる方法等を伺います。</p> <p>〔理事おすすめポイント 福祉(児童):藤原 美雪 理事〕 「あの子のお箸の持ち方が気になる」「なぜ、食器を持っていないのかしら?」など、食事の場面でなかなか上手に食事動作ができない子どもの姿を見かけませんか?どのようにサポートをしたら良いかお困りの方は必見!笹田先生の動作のピラミッド構造を基にした、具体的で分かりやすく、楽しみながらできるサポート方法を一緒に学びましょう。子ども達の「できた!」の成功体験でやる気アップ!</p>		
	午後① レポート*	「対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応」 講師/ 愛知学院大学 健康科学部 健康科学科 准教授 牧野 日和先生 座長/ 岩手県栄養士会理事・合同会社 ZEN PROJECT 管理栄養士 千葉 忍	摂食・嚥下 機能 23-118
午後② レポート	<p>〔講義紹介〕 摂食嚥下障害学がご専門である牧野日和先生から、医療、高齢者福祉、在宅、介護など多くの場面で実践が必須となっている「口から食べる喜び」をテーマにお話いただきます。</p> <p>〔理事おすすめポイント 福祉:千葉 忍 理事〕 言語聴覚士に加え、認定心理士でもある先生のお話は発達心理学の観点からも「食べる喜び」を支援するすべての人に刺さると思います。私は初めて先生の講義を受けた翌日からミールラウンドでの視点が劇的に変わりました! 具体的でわかりやすいお話ですので、嚥下障害がある対象者の対応に悩まれている方やまだ自信がない方には特に強くおすすめしたいプログラムです。</p>		
7/29 (土)	午前 レポート*	「生活習慣病予防における栄養指導と栄養カウンセリング」 講師/ 名古屋経済大学 人間生活科学部管理栄養学科 准教授 早川 麻理子先生 座長/ 岩手県立中央病院 栄養管理科長 兼 県医療局 栄養指導監 伊藤 美穂子 氏	栄養指導 (個人) 46-106
	午後① レポート		
	午後② レポート		
アイーナ 804A	<p>〔講義紹介〕 栄養ケアプロセスは各職域に共通するプロセスです。速やかに必要な情報を収集する問診力、根拠に基づいた栄養アセスメント、実践しやすい栄養プラン、対象者の心動かすカウンセリング、伝える記録等についてお話いただき、より実践的な講義をすすめます。</p> <p>〔理事おすすめポイント 公衆衛生:菊池 絵美 理事〕 2024年度から始まる第4期特定保健指導に「アウトカム評価」が導入されるなど成果を重視した栄養指導が求められています。臨床栄養についての著書を多数手がけている早川先生は、栄養カウンセリングも専門としており、対象者の心を動かす効果を見せる指導方法についてわかりやすく解説いただきます。栄養指導に携わるすべての方必見です。</p>		

期日 会場	時間 型式	テーマ・講師・座長	日栄カリキュ ラムNo.
8/26 (土) アイーナ 812	午前 来場*	「発達障害への理解とコミュニケーション方法」 講師/ 岩手県立大学 社会福祉学部 人間福祉学科 生涯発達支援系 教授 佐藤 匡仁先生 座長/ 岩手県栄養士会研修部長・盛岡大学 栄養科学部 講師 森 真貴子	障害特性 30-102
	午後① レト	「リハビリテーション栄養の考え方と栄養管理方法」 講師/ 社会医療法人令和会 熊本リハビリテーション病院 サルコペニア・低栄養センター 副センター長 栄養管理科長 嶋津 さゆり先生 座長/ 岩手県立中央病院 栄養管理科長 兼 県医療局 栄養指導監 伊藤 美穂子 氏	栄養管理 計画と再 評価 45-105
	午後② 来場	「薬と食品の相互作用～薬を服用中の患者さんに食品で注意が必要なこと～」 講師/ 岩手医科大学 薬学部 臨床薬学講座 教授 高橋 寛先生 座長/ 岩手県立中央病院栄養管理科長 兼 県医療局栄養指導監 伊藤 美穂子 氏	全分野 共通 90-110
	<p>〔講義紹介〕発達障害・特別支援教育学がご専門である佐藤匡仁先生から、発達障害の基礎と社会での発達障害に配慮した支援と関係性の構築方法など、栄養指導に有効な情報です。</p> <p>〔理事おすすめポイント 学校健康教育:飛塚 美智子 理事〕通常学級にも発達障害を持っている児童・生徒が増えてきています。発達障害の特性「感覚過敏」が原因の可能性で、「食べられるものが極端に少ない」「同じものばかり食べる」などの「偏食」が問題となっています。発達障害への理解とコミュニケーションの手法は、私たち栄養教諭にとっても学んでおきたい基礎知識です。ぜひ、一緒に学んでいきましょう。</p> <p>〔講義紹介〕リハビリテーションにより筋力の維持および栄養状態の改善を目的とした、栄養量の設定、具体的な栄養プラン、安定した給食経営を行うためのノウハウ等についてお話いただきます。</p> <p>〔理事おすすめポイント 福祉(高齢):志田 香代 理事〕食べられない方に栄養を摂っていただく難しさは、誰もが経験しているのでは？特に『少量でもエネルギー、たんぱく質が摂れる食事』の情報は本当に重要です。また、リハ＝運動として『運動により筋力をつけるための栄養プラン』はどの世代にも通じるテーマではないでしょうか。パワーライス考案者である先生の講義に学び、明日からの業務に活かしましょう！</p> <p>〔講義紹介〕近年、新薬が続々と開発され、薬と栄養の関連も変わってきました。管理栄養士・栄養士が知っておいた方がよい薬効、副作用について、最新の知見をとりいれながらお話いただきます。</p> <p>〔理事おすすめポイント 地域活動:吉田 知子 理事〕薬の事を学べる機会は貴重です！このチャンスを逃さず学び、知識をアップデートしましょう。</p>		
9/23 (土) アイーナ 804A	午前 レト	「おいしく、楽しく、安全に 食を支える管理栄養士の役割」 講師/ 認定栄養ケア・ステーションぱくぱく 運営責任者 潮田 直子先生 座長/ 岩手県立中央病院 栄養管理科長 兼 県医療局 栄養指導監 伊藤 美穂子 氏	地域連携 ② 412-103
<p>〔講義紹介〕NHK「ハートネットTV」で「在宅ケアの幸せレシピ」と題して出演された方です。栃木県で栄養ケア・ステーションを運営し、訪問栄養食事指導を行っている方です。在宅の現場における嚥下評価と調理の実践についてお話いただきます。</p> <p>〔理事おすすめポイント 医療:江刺家 誠 理事〕在宅ケアでの食支援に必要なことは、正確な食事摂取状況の把握、嚥下評価、適切な食形態、食材の選び方や調理方法、介助の仕方を的確にアドバイスできることです。これは在宅ケアだけではなく、多くの栄養士にとって必要なスキルです。これまでたくさんの食支援をされている潮田先生の講義は、私たちに多くの学びを得られることだと思います。ぜひ一緒に学びましょう！</p>			

期日 会場	時間 型式	テーマ・講師・座長	日栄カリキュ ラムNo.
9/23 (土)	午後① リモート*	「糖尿病の基礎知識と最新情報 ～食事・運動・薬物療法、そして外科治療～」 講師/ 東邦大学医療センター 佐倉病院 栄養部 上席室長 千葉県栄養士会 理事 鮫田 真理子先生 座長/ 岩手医科大学附属病院 栄養部 主任管理栄養士 俵 万里子 氏	病態栄養 23-102
	午後② リモート		
アイーナ 804A		<p>〔講義紹介〕 病院の管理栄養士としてご活躍の鮫田真理子先生から、日本糖尿病学会の「糖尿病治療ガイド 2022-2023」と「高齢者糖尿病治療ガイド 2021」のポイント、栄養アセスメントや栄養プランにおける落とし穴とその対策についてお話いただきます。</p> <p>〔理事おすすめポイント 医療:古川 順勝 理事〕 大学病院での栄養指導が月 400 件という豊富な実績を基に最新の糖尿病治療ガイドなどを分かりやすくレクチャーいただき現場で役立てていきましょう。</p>	
10/29 (日)	午前 来場*	「日本の明日を担う子どもたちの健康と管理栄養士・栄養士の課題」 講師/ 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学研究科長・教授 日本栄養士会 副会長 鈴木 志保子先生 座長/ 岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子	全分野 共通 90-110
	午後① 来場		
アイーナ 804A		<p>〔おすすめポイント 澤口会長〕 鈴木志保子先生は、スポーツ栄養の我が国の牽引者としてご活躍されていますが、その基本としての健康なからだづくりについてお話を頂こうと考えています。少子高齢化が進み、この 4 月にこども庁が新設される中で、明日の日本・地域・家庭を築く青少年の健康課題について考え、管理栄養士・栄養士の果たすべき役割について皆様と話し合いたい。また、日本栄養士会の副会長として最新情報も教えていただきます。楽しく、希望の見える講義になると思いますので皆様ぜひ、ご参加ください。</p>	
	午後② 来場	「チーム医療を推進し輝け栄養管理室」 講師/ 町立西和賀さわうち病院 総括院長 北村 道彦先生 座長/ 岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子	全分野 共通 90-110
		<p>〔おすすめポイント 澤口会長〕 私が北村先生と初めてお目にかかったのは、先生が県立胆沢病院の副院長、NST の指導医師として手腕を振るっている姿でした。その時に感激したのが、周術期栄養の重要性を評価し、管理栄養士は勿論、調理師までもその円陣に入れ、学会発表にまで押し上げていらしたことです。口から食べること、確実な栄養摂取が最大の健康回復につながることを実践されていました。先生は、県病退職後、沢内病院の院長として、へき地医療の最前線で奮闘され、システム改革と患者一人ひとりの医療ケアに邁進されています。今回は、その実践力の迸りを伺いたいと思います。</p>	

- ① 「リモート」とは、講師が現地からのライブ配信による講演。「来場」は、講師が直接会場にお越しいただき、対面式による講演になります。
- ② 受講形態は、集合型（対面）と Zoom（ライブ配信）で実施します。受講を希望する方は、裏面「申込方法等について」をご覧ください。
- ③ 新人（実務経験 3 年未満の会員）のボトムアップのため、* 印の講義は無料で受講できます。